
赤潮警報続報
 シャットネラ アンティーカ
 コクロディニウム ポリクリコイデス
 カレニア ミキモトイ

鹿児島県水産技術開発センター
 令和5年8月30日

八代海赤潮警報 No. 1-14

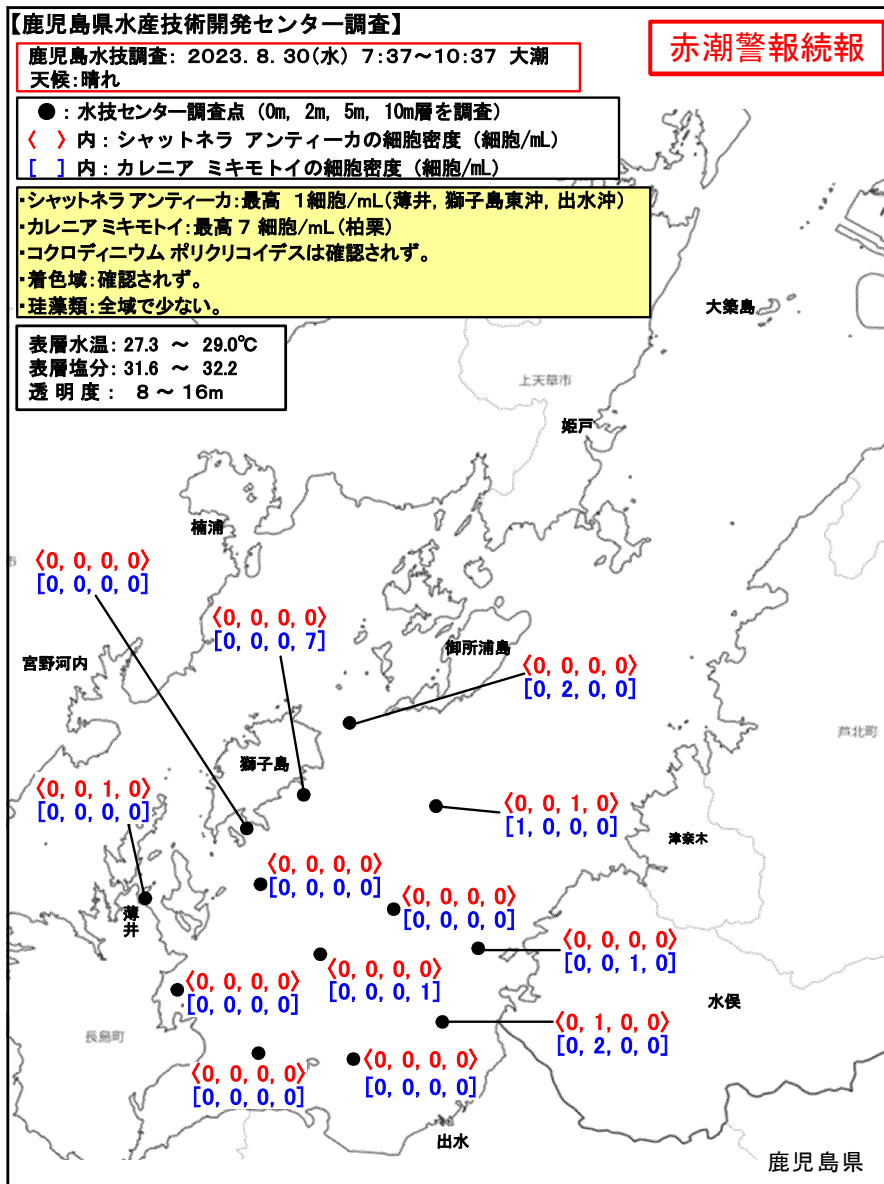
[1] 8月30日の調査結果（水産技術開発センター）

シャットネラ アンティーカは薄井、獅子島東沖、出水沖で1細胞/mL確認されました。また、カレニア ミキモトイは柏栗で最高7細胞/mL確認されました。なお、コクロディニウム ポリクリコイデスは確認されませんでした。

[2] 今後の赤潮発生の予想

シャットネラ アンティーカ及びカレニア ミキモトイは引き続き減少傾向にありますが、競合種である珪藻類は少ない状況が継続しているため、今後の状況によっては細胞密度が増加する可能性があります。

各漁協・養殖業者などにおかれましては、漁場周辺の採水・検鏡により十分な監視をお願いします。また、海の色や魚の状態に細心の注意を払うとともに、必要に応じて餌止めや避難方法の確認等を実施してください。



※シャットネラ アンティーカの特徴

- ・適水温23~26℃
- ・適塩分30以下
- ・魚毒性がきわめて強く、致死細胞密度はブリ類で30-50細胞/mL

※カレニア ミキモトイの特徴

- ・適水温10-30℃
- ・適塩分15-30
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度は数千細胞/mL前後。魚介類（ブリ、タコ、貝類など）に被害を及ぼすおそれあり。

※コクロディニウム ポリクリコイデスの特徴

- ・適水温27-28℃
- ・適塩分32-34
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度は2千細胞/mL前後

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newex.html>

赤潮情報(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newex.html>

